

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 5 月 12 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠. Includes details for 'O301 学校教育の充実' and '03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about school health activities and budget items like '負担金の納入事務'.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥指標. Includes data for '保健主事会・研修会等開催等' and '市内の小中学校保健主事、養護教諭'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts and costs for 27, 28, 29, 30, and 31 fiscal years. Includes categories like '国庫支出金', '事業費計(A)', and '人件費'.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 28 and 29 fiscal years. Includes '19 負担金補助及び交付金' and a '合計' row.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 29, 30, and 31 fiscal years. Includes a note: '※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する' and a list of activities like '市長マニフェスト'.

事務事業名	県学校保健主事会・養護教諭参画事業	事務事業No.	30103000175	所属課	学校教育課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
昭和28年に茨城県学校保健主事会規約を制定し、事業を開始。茨城県の学校保健の研究とその普及発展のため、保健主事の資質向上を図ることを目的とする。近年、児童生徒の心身の健康問題が複雑・多様化してきており、特にいじめや登校拒否等の生徒指導上の問題に適切に対応するとともに、児童生徒の新たな健康問題に取り組んでいくためには学校における児童生徒の心身の健康についての指導体制の一層の充実を図る必要があり、保健主事、養護教諭の果たす役割が極めて重要となっている。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特に聞いていない。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	H26 30132934を統合

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 学校保健及び学校安全に関する新たな情報を入手することにより、保健主事・養護教諭の資質が向上し、学校教育の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 保健主事が県保健主事会に参画し、学校保健及び学校安全に関する新たな情報が入手できるようにすることは税金を使って取り組んでも妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 保健主事が県保健主事会に出席し、学校保健及び学校安全に関する新たな情報が入手している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 学校保健及び学校安全に関する新たな情報が入手できなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む))
	(他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 負担金72千円の納入事務のみであり、削減の余地はない。	
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 学校保健・学校安全の更なる充実を図り、また児童生徒の健康管理に生かすことを目的としている。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	毎年度、保健主事会の開催・研究協議を行い、また、養護教諭の調査及び研究発表会等を開催し学校運営に活かされていることから成果はある。また、今後も事業を継続していくため、予算措置を要望していく。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>